

恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会(第1回) 会議録

日時	令和元年7月18日(木曜日) 18:30～
出席委員	5名
事務局	6名
会場	えにあす 2階 会議室8-3

《会議録》

事務局	1. 開会 (1) 会長挨拶 会長より挨拶 (2) 部長挨拶 保健福祉部長より挨拶 (3) 令和元年度担当職員の紹介 事務局自己紹介
	2. 議事 (1) 計画に基づく事業の評価・検証について それでは議事1計画に基づく事業の評価・検証についてご説明したいと思います。今回は平成 30 年度実施の各事業について評価・検証していただきますが、評価方法につきましては昨年と同様に行なうということで、前回の審議会で各委員の皆様にご承認いただいておりますので、これから説明する資料や評価調書につきましても昨年の事業評価内容を反映したものとなっております。それでは資料をご覧ください。 まずは評価方法についてになります。評価項目は各基本施策が 17 の中項目に分かれておりますので、その中項目ごとに評価を行なっていただきます。 次に評価の流れです。計画体系は参考資料の例の通りとなっております。評価項目である中項目はそれぞれ 64 の小項目に細分化されております。具体的にご説明しますと、資料にあります「恵庭市運動スポーツ推進計画体系図」をご覧ください。縦のラインで見ますと左から 4 番目のラインに中項目がございます、その右隣に小項目という事で 64 の項目が並んでおり、その隣には中項目ごとに委員の皆様の担当割を掲載しております。 それでは資料1ページ目に戻りまして、まず小項目の事業シートにより事業内容や市の事業担当課の取組みを確認していただき、委員の皆様が担当となっている中項目ごとの評価の視点に基づき目標達成度を評価し、事業内容に関する意見などを事業評価シートに記載していただきます。 次に 2 ページ目をご覧ください。こちらは審議会全体の評価の流れについてまとめております。先ほど説明しましたとおり、評価の流れについては昨年と同様のものとなっております。先ほどご覧いただいた体系図のとおり、会長・副会長以外の委員の皆様を中項目ごとに評価割しております。それでは審議会評価取り纏めの体系図についてご説明しま

	す。まず①会長・副会長以外の各委員の皆様それぞれの評価割に基づいて評価シートを作成し会長・副会長へ提出していただきます。その後会長・副会長が評価を行い各委員の皆様へフィードバック致します。フィードバック後に各委員の皆様でもう一度内容を確認頂き、会長・副会長へ提出。最終的に会長副会長より事務局へ提出頂き、公表させていただきます。 この間の評価シートの提出については事務局を経由することになるかと思います、日程やそれぞれの期限につきましては3ページに掲載しておりますのでご参照ください。 なお、評価結果につきましては市の HP にて公表すると共に事業担当課へ結果を報告し今後の予算等へ反映して行くよう努めていく予定であります。事務局からの説明は以上です。
D 委員	評価については資料4ページ目の項目のみを行なうということで間違いないか。
事務局	そのとおりです。評価割上では C 委員も同じ項目を評価しますが、各委員毎の視点で評価していただければと思います。
会長	その他何かありませんか。 ⇒特になし
会長	(2) その他 それでは、その他という事で事務局から何かありますか。
事務局	それでは事務局から通年型屋外スポーツ施設のサウンディング型市場調査の結果公表についてご説明させていただきます。こちらは昨年の審議会におきまして施設の設置運営について、民間活用の検討調査を進めるということで、民間企業に意見を求める事が出来るサウンディング調査を実施することという事で決定をいただきましたので調査を進めてまいりました。今回、調査が終了しましたのでその内容を説明したいと思います。お手元に配布している資料をご覧ください。まず調査経過については平成 31 年 2 月 15 日に調査要領を市の HP にて公表し、2 月 28 日まで現地見学会の受付を行ないましたが、参加事業者はございませんでした。続いて 3 月 18 日から 27 日まで事業者の参加受付を行い、その結果1事業者の参加申込みがございました。その後 4 月 1 日から 7 月 2 日の間に事業者との対話型によるサンディングを実施いたしました。なお、その間出た意見について下記の対話によるサンディング調査の結果にまとめております。まず①施設の民説民営の可能性についてですが、民間による建設と施設所有の可能性はあるものの、他施設の利用料や稼働を考慮すると利用料のみでの運営は難しく賃料収入を減る仕組みの検討が必要との意見が出ております。次に 2 番の施設の利用方法、集客や稼

	働率の向上についてですが、他の施設と競合しないような施設が良いのではないかと。現在の既存体育施設の改善要望などを補完出来る施設としてはどうか。近隣の教育施設との連携により集客増や稼働率の向上が図れないか。子供が基礎体力向上できるような施設の利用について近隣市の類似施設も参考に検討してはどうか。屋外スポーツによらず日中の利用を促すため、ストライダー(ペダル無しの 2 輪車)やマーチングバンドの利用が出来るようにしてはどうか。また、その他の意見という事で、敷地内の既存施設と別棟にすると人員等の管理経費が余計にかかるので既存施設につなげた方が良い。敷地内に民間施設、例えば店舗等を誘致できれば、相乗効果が図れるのではないかと。但し、視認性が課題であり施設のコンセプトや利用イメージを具体化させ民間誘致を図るべきではないかと、といった意見を頂いております。 以上がサウンディング調査の結果の説明になります。今後は調査の結果を参考にして民間による設置の方法ですとか施設の運営方法について何らかの検討をしていく必要があると考えておりますが、これまで審議会で頂いておりました市の負担を増やさない、市全体の公共施設を増やさないといった意見を頂いておりますのでそういったものを引き続き念頭において検討を進めてまいりたいと思っています。事務局からは以上です。
会長	結果公表はこのような形で行うということですが、いかがでしょうか。 ⇒反対意見なし。
B 委員	以前、審議会の中で通年型屋外スポーツ施設の類似施設ということで出ていた福住屋内運動広場についてだが、最近、体協から雨漏りがひどいという話を聞いたことがあるが何か聞いているか。
事務局	施設管理者である体協との月例会の中でも、福住屋内運動広場の雨漏りが多くなってきたという報告は受けています。施設の老朽化が進んでいるというせいもあるのかもしれませんが、もし直すとなると屋根全体の改修が必要となるかもしれませんので相当な費用がかかるものと思います。
B 委員	今回の調査で「既存体育施設の改善要望を補完する施設としてはどうか」という意見があったが、新しい施設を建てるなら、こういう古くて利用方法が似ている施設のことも含めて考えていった方が良いと思う。
事務局	わかりました。只今の意見も参考にさせていただきながら検討していきたいと思っています。
会長	建設はいつ頃を予定しているのか。

事務局	市の総合計画では令和２年度に実施するという事で位置づけされております。
会長	現時点までの道外の視察や調査の結果、来年建設というのは可能なのか。
事務局	これまでも、審議会でも市の負担がなるべくかからない手法の検討や、市の古い類似施設と統合して市全体の公共施設の数を増やさない形での検討という意見もいただいておりましたが、今回の調査の結果を見ますと、利用料の収益だけでは厳しいという所もありますので、今後の施設設計や事業者決定にむけて、もう少し検討期間が必要かと思えます。この審議会でご了承いただければ、市としましては今の計画より少し遅らせて来年度のオリンピックやパラリンピック開催の機運や民間企業の活力を期待しつつ、時間をかけて新たな手法を審議会に提案しご承認いただけるよう進めていきたいと思いますがいかがでしょうか。
会長	計画の実施時期はありますが、きちんとした施設を設置するという意味では、じっくり腰をすえてしっかり検討してもらおうほうが私達委員として良いのじゃないかと思いますが、皆さんどうでしょうか。 ⇒反対意見等なし
会長	それでは審議会としては、もう一度しっかり時間をかけて検討を進めていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いします。 それでは他に意見はありますか。 ⇒特になし ４．閉会